01 SDGsの達成をビジネスで。企業提案型の事業を6件採択

JICAは「途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査」＊の2018年度第1回公示の結果、採択案件として6件を選定しました（別表）。

15年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」は、国際社会が30年までに達成すべき課題を掲げた世界共通の目標です。その大きな特徴は、民間企業を主要なプレイヤーの一つと位置づけていることです。CSR（企業の社会的責任）の浸透やESG（環境・社会・企業統治）投資の世界的な広がりも後押しし、貧困減少や都市問題の解決などに向けた取り組みが世界的に活発化しています。

こうした流れを受け、JICAでは民間企業などとのパートナーシップの加速を目指した官民連携支援スキームの拡充を行い、多様な技術・アイデアを持つ民間企業とともに、SDGsの達成に向けた取り組みを進めています。

今回採択された案件は飢餓・栄養や健康、ジェンダー平等、格差是正への貢献、気候変動への適応力向上を目指すものなど、どれもそれぞれの企業が持つ強みを活かした取り組みです。社会課題への取り組みを新たなビジネスチャンスととらえて企業経営に取り込む動きが進みつつある中、JICAは今後もさまざまな支援制度を通じて民間企業と連携し、途上国の課題解決に向けて貢献していきます。

＊2018年7月末より新制度に変更。

高い付加価値を持つモリンガ製品の生産・販売を図るイチバンライフ ©イチバンライフ株式会社

採択案件（略称）	対象国
デング熱対策のための防蚊衣類生産・販売調査	インドネシア
小規模農家の収入向上のためのセンナ栽培・加工品販売調査	ミャンマー
農村部の金融アクセス向上のための融資付帯保険商品開発・普及調査	ミャンマー
農家の収入向上のためのモリンガ生産・加工品販売調査	バングラデシュ
衛星データを活用した農作物生産性向上のための農業情報サービス調査	南アフリカ
栄養改善及び女性の収入向上のための大豆食品バリューチェーン構築調査	ブルキナファソ

02 タイ洞窟、救助活動に協力。タイ国王から感謝状

タイ王国チェンライ県郊外のタムルアン洞窟で、2018年6月23日、地元のサッカーチームのメンバーであるコーチ一人と少年12人の遭難事故が発生しました。JICAも救助活動に協力し、7月10日までに13人全員が救出されました。

事故発生後、JICAは排水や土木分野の専門家2名他を現地に派遣し、タイ政府関係者に効率的な排水方法や、新たな水の流入を防ぐ手段を助言しました。また、宇宙航空開発研究機構（JAXA）などの協力を得て衛星画像を活用した高精度の地形図を作成し、救助用の坑道や雨水の流入口の探査などに活用できるよう、等高線や洞窟のルート予想図を書き加えてタイ政府に提供しました。現地には14年にタイ政府に無償供与したポンプ車2台も派遣され、洞窟の排水に活用されました。こうした協力が救助活動の一助となり、13名全員の救出につながりました。

タイ国は各国からの支援に謝意を表明し、7月4日にはワチラロンコン国王から本救助活動に参加した全関係者に向けて感謝状が贈られ、18日にはソムキット副首相から感謝の言葉が述べられました。また、タイ国民からもメディアやSNSを通じて感謝の気持ちが寄せられています。JICAは今後も国際社会と連携し、途上国での有事への迅速な支援を行っていきます。

山岳救助隊司令部で地形図を説明するJICAタイ事務所の三宅繁輝次長（中央）

03 バンサモロ新自治政府設立へ。日本が貢献した和平プロセス

2018年7月26日、フィリピン政府とモロ・イスラム解放戦線との和平合意に基づき、新自治政府を新たに設立するために必要となる「バンサモロ基本法」が成立し、JICAが長年支援を続けてきた和平プロセスが一つの節目を迎えました。

フィリピン・ミンダナオ島のバンサモロ地域では、1970年代以降、分離独立を求めるイスラム武装勢力と政府軍の武力衝突が続いていました。この「ミンダナオ紛争」は、2014年の包括和平合意までに数十万人の犠牲者を出すなど、フィリピンが抱える大きな国内問題でした。

40年以上にわたり紛争の影響を受けてきたバンサモロは、国の社会経済開発から大きく取り残されてきたため、インフラや教育、医療など社会サービスの整備が立ち遅れ、貧困率も高くなっています。

JICAは02年の「平和と安定のためのミンダナオ支援パッケージ」以来、約15年にわたって、農業や教育、貧困減少、小規模インフラ整備などの支援を紛争で被害を受けた地域で実施してきました。

今回の基本法の成立により、自治地域の領域を決める住民投票の実施や、暫定統治機構の設立など、新自治政府の設立に向けた準備が始まります。JICAは引き続き移行プロセスに協力していきます。

日本の支援で建設されたミンダナオ島の小学校。宗教が異なる子どもたちもともに学ぶ